

感染症発生状況

令和7年5月1日

各保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和7年4月21日（月）～4月25日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は 2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 351名 【職員】 5名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】 70名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】 症状別：熱（138名）、咳・鼻水（77名）、下痢・腹痛（27名）、嘔気・嘔吐（18名）

疾病別：伝染性紅斑（リンゴ病）（20名）、気管支炎・肺炎（10名）、胃腸炎（8名）
インフルエンザ（7名）

【職員】 症状別：嘔気・嘔吐（2名）、下痢・腹痛（2名）

疾病別：胃腸炎（2名）

ヒトメタニューモウイルス感染が流行しています。

このウイルスはRSウイルスと同様に発熱、咳発作、喘鳴が主症状です。

4月から6月までが流行時期です。皆様ご注意ください。

【症状別の発生状況】

伝染性紅斑（リンゴ病） 厨川地区増加しました。河北地区で減少しました。

気管支炎・肺炎 玉山地区で増加しました。河北地区、盛南地区、河南地区で減少しました。

胃腸炎 厨川地区、都南地区で増加しました。河北地区、盛南地区で減少しました。

インフルエンザ 河北地区、都南地区で増加しました。

【県の状況（4/14～4/20）】

百日咳の報告が52例ありました。県内では、百日咳の患者数が現時点で昨年一年間を上回っています。全国でも患者数が増加しており、乳児の死亡事例も1件ありました。かぜ様の症状と激しい咳が特徴で、1歳未満の乳児は重症化のリスクがあります。乳児への感染を避けるため、周囲の人は体調管理に気を付け、症状がある場合はすみやかに受診をしてください。予防にはマスクの着用や手洗いのほか、ワクチン接種が有効です。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が1例ありました。

梅毒の報告が1例ありました。

国内で麻しんが報告されています。海外からの輸入事例の増加が懸念されるほか、渡航歴のない人での感染事例が報告されているので注意が必要です。麻しんは空気感染し、手洗いやマスクのみでは予防できないため、ワクチン接種が有効です。

感染性胃腸炎は増加し、定点当たり患者数は9.64人でした。盛岡市、二戸、中部、奥州地区で報告が多くなっています。集団発生事例は3件ありました。体調管理に気を付け、調理や食事の前、トイレの後は石けんで手洗いをしましょう。

インフルエンザは増加し、定点当たり患者数は2.84人でした。学校等休業措置は6件ありました。手洗いや咳エチケットなど基本的な感染予防対策をしてください。症状がある場合はマスクを着用のうえ受診をしてください。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】